

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年2月4日公開

アメリカ政府メモ

今日の預言アップデートの準備をしながら、驚愕したことがあります。現在起こっている事柄よりも、むしろ、現在起こっている事によって、この先、到達する可能性のある地点についてです。通常、私はアップデートの準備をしながら、その前の週の間に関わった、あらゆる展開の、点と点を結ぼうとするのですが、今週は、いつもとは少し違っていました。つまり、先週起こった事によって、これから数日、もしくは数週間先には、どこに到達するのか、という意味です。私はこういった話をする時には、いつも過剰にセンセーショナルであったり、挑発的にならないように注意し、祈るのです。それでも、何かが起こる気がする、と言わざるを得ません。私がそう感じているだけなので、私の間違いかもしれませんし、何度も言いますが、センセーショナルにお伝えするつもりは、全くないのです。ともかく、特に現在ここ、アメリカ合衆国で起こっている事に関して、中東で起こっている、イスラエルに関わる状況の展開に関してです。

まずは、Fox ニュースの記事から始めたいと思います。皆さんの予想通り、公開されたメモについて、です。皆さんも、これには注目しておられると思います。先週は、一連この報道が占めていましたから、嫌でも目に留まりましたね。ともかく、これによれば、2016年の選挙で、行政調査の不正があった、と主張しています。FOX ニュースが報じているのは、ホワイトハウスの回答です。

—「メモは、アメリカ国民に対して使用される、最も深く介入する行政調査の手段に関して、アメリカ合衆国司法省と、FBI の最高位で下される決断の高潔さについて、非常に大きな懸念を生じさせる。」—

次に、まず初めに、これを伝えるべきだと私が思った理由は、これは、ほんの始まりに過ぎない、と考えられているからです。さらに多くのメモが出てくる、と言われていて、1300以上の封印された起訴が、近々配られるとのこと。これは、去年から深刻化していた事ですが、高級官僚たちの逮捕、また禁固刑の可能性もあるとの事で、この国の歴史上、前代未聞です。非常に権力のある人物も、何かを隠していて、それが今、大々的に報じられる可能性があるのです。先ほども言いましたが、私がこの話から始めたのは、これによって起こる事を無しにしては、シナリオが想像できないからです。確かに、何も起こらない可能性もありますし、前回のように、失敗に終わったとしても、これが初めてではありませんから。驚きはしませんよ。いずれにせよ、この件がどちらに転んだとしても、この数日間、または数週間の内に、どんな事が起こったとしても、これがアメリカの将来にとって、良い兆しとなるシナリオは、私には想像できないのです。何度も言いますが、私は人騒がせとか、挑発するつもりはないのです。しかし、もしこれが実際に起これば、この国は内部崩壊する、と示唆する人もいます。暴動が想像できますか？この国がどうなるか、この国の内部がどうなるか、想像できますか？

このように見てみてください。封印された告発という観点から見て、最高で1000件以上、それが、1300件以上の告発が封印されていたのです。あまりにも多くの腐敗が隠蔽されていて、それも最高級のレベル、アメリカ政府の最高級幹部です。もし、これが起こるなら、言っておきますが、想像をはるかに超える事態になるでしょう。そうなれば、アメリカが、聖書預言に出て来ない事にも、つじつまが合ってくるのではないのでしょうか。と思ったりします。「まあ先生。まるで、そこら辺の陰謀論者のような事を言い出して！」—ま、いずれ分かります。

次に、この Ynet ニュースの火曜日の記事に繋がります。

—IDF (イスラエル防衛軍) のトップが、イスラエルの北部国境付近が、「嵐の前の静けさ」で「ある可能性を警告。比較的穏やかであるにも関わらず、ヒズボラから起因している軍隊のテロ活動能力が勢力的に増大していて、多くの挑発が待ち受けている。」—

Jerusalem Post もまた、これについて報道しています、その社説のタイトルが、「戦争の兆し」その中で、筆者が告げています。

—“もし”というより、正確には“その時”、北部国境でイランの代理であるヒズボラとの間で、再び戦争が起こった時には、国際社会は「聞いていなかった」と、主張する事は出来ない。イスラエルは、聞く耳のある者には、ずっと伝え続けてきたのだ。イランが、シリアに地位を固めており、イスラエルに向けて発射するために設計された高性能ミサイルを、レバノンに確立している。そして、テヘランがそれを行っている間、イスラエル

が何もせずに、手をこまねいているという事はない。月曜日、モスクワを訪れたネタニヤフ首相は、ロシアの大統領ウラジミール・プーチンに、この事を、実に明確に伝えた。ネタニヤフがプーチンに「もし、誰もイランを止めないなら、イスラエルが止める」と言った。――

これは、少しエゼキエル 38 章のようにも、聞こえませんか？それとイザヤ 17 章？「敵の敵は友」という表現を、皆さんも聞いた事があるでしょう。これは、エゼキエル 38:13 に出てくるサウジアラビアの状況です。彼らは、イスラエルの友になりつつあり、共通の敵はイランです。私がこれを伝えているのは、シリアのダマスカスに関する、イザヤ 17 章の預言から始まって、鍵となる 2 つの預言が、成就されつつあるからです。昨夜、バッシュール＝アル・アサドのドキュメンタリーを見ていたのですが、シリアで起こっている事、シリアに起こっている事は、実に衝撃的でした。どうか皆さん、理解しておいてください。ロシアとイランは、今日、シリア国内に居ます。シリアから、イスラエルに向かって攻撃をする用意が来ています。まさに、エゼキエル 38 章で告げられている、その通りです。

現在私達は、全ての国々が驚愕の形で、それぞれの国と並ぶのを目撃している、と私は思っています。特に重要であり、また興味深いのが、サウジアラビアです。ただ、念頭に置いておいてください。13 節のシェバとデダン、現在のサウジアラビアが、タルシュシュの商人たち、およびその若い獅子の側につく。これは人によっては、アメリカ合衆国とイギリスだと考えられています。それらが、ロシア、イラン率いる国々による、イスラエル攻撃に対してただ抗議するだけという、この可能性はあるのか？もし、それがあり得るとするなら、私がこれからお話しする事の、つじつまが合ってくるのです。サウジアラビアが、唐突にイスラエルの味方となる？ちなみに、彼らは今そうなっています。そして、アメリカ合衆国は、何らかの形で、イギリスと一緒にただ抗議するだけの立場に成り下がる？もしそれが、タルシュシュの若い獅子達であるなら、彼らはただ、このエゼキエル 38 章の攻撃に対して、抗議するだけの存在に成り下がる？13 節にはそう書かれています。

次に、Arutz Sheva を引用します。サウジのブロガーが、炎上した動画の中での発言を紹介しています。引用するのをお許しください。

――「パレスチナ人は、地獄へ行けば良い。彼らはアラブ界を裏切ったのだ！」

サウジアラビア王国が、石油長者でイスラムの聖地の管理人（メッカとメディナの事を指しています）の、長年の得意客パレスチナ高官と、名目上はまだ味方であった間も、双方の関係は、近年冷め切っていたと言われている。（これはまだ優しい言い方だと私は思いますが）テヘラン政権のパレスチナ系アラブ人の対立グループの援助を受け、共通の敵であるイランに対抗して、サウジアラビアとイスラエルは密かに協力している。パレスチナに、イスラエルとの和平交渉を、以前の条件よりも悪くても、受け入れるように圧力をかける事を、サウジ指導者に勧めた。12 月の驚きの報告によれば、サウジアラビアは、パレスチナ国家の支配層抜きのユダヤ人国家との独自の和平協議か、もしくは、イスラエルとパレスチナの間の最終地位合意、王国の立場の抜本的な変化を検討中であるという。――

これが後程、元の場所に戻ってきますので、もうしばらくご辛抱ください。

抜本的改革と言えば、Jerusalem Post が示唆しているのは、

――必要なのは、パラダイムシフトではなく、エルサレムとラマラの両方、それと可能ならば、ワシントンの指導者の交代だ。これは、「2 国解決策」が唯一の選択肢である」という大義の元、この不吉な結論が、――

これが、私はとても気になったのです。皆さんもよく聞いてください。

――2 国解決策は、生命維持に頼っているかも知れない。しかし、これが唯一の選択肢として残り、突破口に到達するための次の試みでは、失敗は許されない。――

ここに、共通のテーマが見えますか？嵐の前の静けさ？失敗は許されない？前代未聞の？

さて、ジャレッド・クシュナーについてですが、National Interest のこの興味をそそられる記事があります。タイトルは、「クシュナーの、静かな中東獲得を無視するな。」聞いてください。

――クシュナーが被った、わずかな報道は、懐疑的なものから軽蔑したもので様々で、おのずと彼は噂を払いのけようとはしなかった。彼は、記者を伴って旅をせず、また、マスコミの関心も誘わなかった。彼は、ほんの一瞬姿を見せるだけで、これと言って事件も起きない。舞台裏で彼は、驚きの進展を見せている。――

記事は続けて、クシュナーの驚きの進展について、その理由を引き合いに出しています。私が興味をそそられたのは、その理由の1つで、よく聞いてください。引用します。

—クシュナーは、サウジアラビアの31歳の皇太子ムハンマド・ビン・サルマンと親しくなっている。—彼の事、覚えていますか？彼については、これまでたくさん話しましたね。

—2人ともハイテク通で、若く、現状維持を邪魔する者であり、両者とも、抽象的な表現よりも、現実的な解決を好む。

もう一度お聞きしますが、ここにも共通のテーマが見えますか？ここにも、共通点が見えますか？ところで、一周して元に戻って来ているのが分かりますか？サウジアラビアが、イスラエルの味方で、共通の敵であるイランに敵対。イランはすでにロシアと他と共にシリアに居て、準備は出来ている。全てが整いつつあるのです。それが、これらの共通点で、全ては前述の「嵐の前の静けさ」を示しています。私には、いずれ何かが起こるように見えます。なぜこんな事を言うかといえば、物事がこのまま長期にわたって長引くとは、想像しがたいのです。特にここ、アメリカ合衆国では、いずれ何かが起こるはずだ、と思うのは妥当でしょう。これが、このまま続くと言うシナリオは、私には考えられないのです。また、ここから見えてくるのは、将来を握っている方を知らない人達にとっては、将来起こる困難な様子だ、と私は気づいたのです。

私は利口ぶるつもりはありません、違う言い方をしますと、私達は、これがどのように終わるのかを知っていますから、特に聖書預言を学ぶ私達にとっては、これはワクワクする事ではありませんか？終わりが来る前に、これらの事が起こるのだと、イエスは言われました。だから私達にとっては、これらの事が、私達の贖いが今まで以上に近づいている事を示しているのです。なので、私達には、聖化されたワクワク感があります。しかし、主を知らない人達にとっては、どうでしょうか。聖餐式に入る前に、これらをまとめたいと思いますので、もう少しお付き合いください。

最近、日毎に悪がどんどん盛んになって、世の中にはびこる脅威の為に、多くの人がキリストに立ち返っているという、実に励みになるニュースをお伝えしてきました。そこで、Federalist が、実に興味深い内容を、報告しています。記事は、ハーバード大学の新しい研究の結果で、アメリカのキリスト教は減少しているのではなく、強く成長している。引用します。

—「『アメリカの宗教は廃れつつある』と言われ続けており、キリスト教が完全に絶滅して、文化的なエリート達が高笑いするのも、時間の問題だ。」これは事実だろうか？教会に行くことや、宗教への執着は、広範囲にわたって衰退しているのだろうか？同様に、保守的な信者たちは、高まる不安に苦しんでいるのだろうか？二言で言えば、「全く違う」。去年の終わり、ハーバード大学と、インディアナ大学ブルーミントン校の教授たちによって発表された、新しい調査は、神話を明らかにした最新のものだ。主要教会は、まるで巨大石臼を首に巻かれているがごとく、下降中だ。確かにこれらの教会からは、驚くような数の教会員が流出している。しかし、多くの方はキリスト教を離れたわけではない。彼らはただ単に、違うところに行っているのだ。—

彼らが別のところに行くのは、神の御言葉の御計画全部を教える教会に、答えを求めているのだ、と私は強く思っています。第一ペテロ 3:15 で、使徒ペテロが伝えている事を、よく聞いてください。

“むしろ、心の中でキリストを主とあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について、説明を求め人には、誰にでもいつでも弁明できる用意をしておきなさい。ただし、優しく、慎み恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。” (第一ペテロ 3:15-16)

私の考えはこうです。人々は賢いです。彼らは何が起こっているのかを見ています。そして、疑問に問うているのです。また、これらはとても良い質問、聡明な質問で、彼らには、聖書にかなった答えが与えられるべきなのです。彼らの疑問は、「このイスラエルの状況は、一体どういう事なのでしょう？」「イランは、どうですか？」「ロシアが関わる、このゴタゴタは？」「シリアでは、一体何が起きているのですか？」人々は、こういった事を疑問に思っ、その答えを知っている人を探しているのです。私達は、答えを知っていますか？私達は、うちにその希望を持っている者ではありませんか？人々が、世で起きている事を目撃している中で、私達にとっては、素晴らしい機会ではないですか！その答えが、与えられるのです。その答えとは、何か？その希望とは、何か？

イエス・キリストにある希望、それは、福音です。もしくは、イエス・キリストによる救いの良い知らせ、と言っても良いでしょう。第一コリント 15 章で、使徒パウロが書いている事を、よく聞いてください。

“兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたが、よく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えた、この福音の**ことば**をしっかりと保っていれば、この福音によって救われます。私があなたがたに、最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。（これが福音です。）**キリストは、聖書の示す通りに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また聖書の示す通りに、3 日目によみがえられたこと、**”（第一コリント 15:1-4）

これが、イエス・キリストの福音の教え、これが福音、これが良い知らせです。

「教える」とは、何をすべきかと伝える一方で、その方法も伝える事だと言われています。私がこれを言うのは、福音を伝える中で、さらに、福音に応える方法もお教えしたいからです。私はこれを、「救いの ABC」で行いたいと思います。これは、子供にでも分かるシンプルな福音です。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分が罪びとである事を、認める。もしくは、自分は罪人であり、救い主が必要であると認識する。ローマ 3:10 にはこう書いてある通りです。

“「義人はいない。ひとりもない。」（ローマ 3:10）

私達は皆、罪人として生まれました。だから私達はみんな「新しく生まれなければ、神の国を見ることは出来ません」とイエスはヨハネの福音書 3 章で言っておられます。

ローマ 3:23 にはこうあります。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、”（ローマ 3:23）

ローマ書 6:23 にはこうあります。

“罪から来る報酬は死です。しかし、**神のくださる賜物は、——**”

これは、エペソへの手紙 2:8-9 です。

“あなたがたは、恵のゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出たことではなく、**神からの賜物**です。行いによるものではありません。誰も誇ることはないためです。”（エペソ 2:8-9）

“——神のくださる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”（ローマ 6:23）

B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であり、神が彼を死からよみがえらせた、心で信じる。ローマ 10:9-10 にはこうあります。

“——あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10: 9-10)

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める、もしくは口で告白する。これもまた、ローマ 10:9-10 が告げています。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10: 9-10)

そして、どうかよく聞いてください。これは非常に重要な事です。今日、私が牧らせていただいている、この美しい教会にいる方全員が、新生している事を、前提にしていません。ですから、今までに、一度の主の御名を呼び求めた事の無い方にお伝えします。今日、あなたがこの教会を出る前に、どうか、それを行ってください。ローマ 10:13 にはこうあります。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」” (ローマ 10:13)

祈りましょう。

天のお父様。あなたに感謝します。あなたの御言葉、聖書預言に感謝します。あなたは、それが起こる前に、何が起こるかを教えて下さいました。それが起こり始めるのを見た時に、未信者達は信じ、信者達は、体をまっすぐにして頭を上げます。贖いが近づいていますから。主よ。世の中で起こっている全ての事を見て、この先の将来の不確かさが、私達をあなたの元に駆り立てます。それこそが、確かな事であり、それこそが礎（いかり）、それこそが希望です。ですから主よ。今日、ここに居る人の中で、もしくは、これをインターネットで見ている人の中で、あなたを信頼していない人、これまでに一度もあなたの御名を呼び求めて救われていない人が居るなら、今日が、彼らの救いの日となりますように。彼らが、これ以上、先延ばしにする事はありませんように。今日、彼らが、彼らの永遠のいのちにとって、最も重要な決断をしますように。主よ。福音をシンプルにして下さって、ありがとうございます。子供にでも分かるようにして下さい、ありがとうございます。全ての恵みに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

聖餐式

ルカの福音書 22 章には、最後の晩餐について、ルカが聖霊に導かれて次のように書いています。

“さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスと一緒に席についた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒に、この過ぎ越しの食事をするをどんなに望んでいたことか。あなたがたに言いますが、過ぎ越しが神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過ぎ越しの食事をすることはありません。」そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしの体です。わたしを覚えてこれを行いなさい。」” (ルカ 22:14-19)

私達が今、手にしているのは、砕かれたイエスの体の象徴です。骨ではないという事を、理解しておいてください。イエスの骨は一本たりとも折られていませんでした。それも、彼に関する預言の成就で、裂かれたのは彼の皮膚、血が流される為にです。聖書には、こう書かれています。

“血を注ぎだすことがなければ、罪の赦しはないのです。”（ヘブル 9:22）

そしてイエスは、あの夜、最後の晩餐で弟子たちと、これを祝っておられたのです。過ぎ越しの祭りです。これも預言で、エジプトで 10 番目の災いが下った時のことです。（出エジプト記 12 章）これがとても興味深い事に、長子の死だったのですが、イスラエルの民は、小羊を取り、その小羊を 4 日間調べるように言われました。これは、イエスが裁判にかけられた日数です。そして、罪のない事、傷もシミもシワもない事が分かりました。その小羊が、シミも傷もない事が分かれば、血を流すために、その小羊の首を切って、その体、皮膚を裂くのです。イエスは、その過ぎ越しの預言の成就でした。これからいただく杯は、パンが体の象徴であったのと同様、杯は、私達の代わりに流された、彼の血の象徴です。彼らはヒソブの枝に、これだけでも興味深いのですが、それに血を浸して、家の入口の柱に塗りました。すると、死の御使いがそこを過ぎ越したのです。これが、過ぎ越しです。そして、これが、私達が今日祝っている、聖餐です。完成したのです。

最後にもう一つお伝えしたいのは、聖書の中に書かれている、数の重要な意味です。エペソ人への手紙で見た通り、5 という数字が恵みを表しているように、7 という数字は完全数です。そしてイエスは、砕かれた体の 7 か所から、血を流されました。一緒に数えてみましょう。ムチで打たれた背中で 1、釘で十字架に打ち付けられたのは手ではなく手首、これで 2 と 3。両足で 4 と 5。棘の冠を被せられた、彼のひたいで 6。最後に 7 番目は、突き刺された脇腹です。そこから、血と水が流れ出ました。出産に関わる 2 つの要素です。これは、教会の誕生の図、イエス・キリストの花嫁の誕生です。これがとても興味深いのです。今日は深く話しませんが、ぜひ、みなさんご自分で調べてみてください。イエスは、2 番目であり最後のアダムと表現されているのをご存知ですか？（第一コリント 15:45）1 人の人によって、世に罪が入り、イエスが最後のアダムとして世の全人類の罪の対価を支払うために来られました。（ローマ 5:12~）そして神は、アダムから、どのようにして花嫁を取り出されたか？神は、アダムの脇腹から花嫁を取られたのです。アダムのあばらの骨を取ったのです。（創世記 2:21-22）同様にキリストの花嫁も、最後の 7 番目に、彼の脇腹が突き刺された時に、そこから生まれたのです。それで、完成されました。完了した。（ヨハネ 19:30）預言が成就した。それを、私達は今日、祝っているのです。イエスがして下さった事を覚えて。では、一緒にパンをいただきますよう。

天のお父様。私達が、あなたを覚えてこれが行えるようにして下さり、感謝します。主よ。日々の忙しさの中で、私達は忘れてしまいがちですが、私達に無償で受けた救いは、あなたがして下さった事によって与えられたのです。主よ。今日、私達によって、これを思い出す事はとても重要です。主よ、感謝します。十字架にかかってくださり、感謝します。私達が犯した罪の為の死刑を、あなたが全額支払ってくださって、感謝します。私達のすべての罪を、あなたが受けて下さり、感謝します。死からよみがえってくださり、感謝します。3 日後に、死に打ち勝たれました。主よ、ありがとうございます。

ルカは続けて書いています。

“食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約です。」”（ルカ 22:20）

私達が手にしているのは、私達の代わりに流された血の象徴です。血の中に、力がある。イエス・キリストの血に、力があるのです。罪を覆うのではなく、取り去るほどの力があるのです。旧約聖書では、ヘブル語で「コファール」。これは、ただ覆うだけの意味しかありません。しかし、新約では彼の血です。イエスが言われたように、もはや罪を覆うことはせず、取り去るのです。イザヤが、次のように言っています。

“たとい、あなたがたの罪が、緋のように赤くても、雪のように白くなる。”（イザヤ 1:18）

血には、それほど威力があるのです。それが、どんな罪であろうと関係ありません。罪は恐ろしいものです。しかし、彼は、東が西から離れているように、それを遠く離して、もう思い出さない。（詩編 103:12）それほど、血には威力があるのです。それを、私達は今日、ここで祝っているのです。

最後に、もう一つだけ言わせてください。これが何を意味するか。それは私達がこれまでに犯した、あらゆる罪、私達が今犯しているすべての罪、そして、私達がこの地上でまだ犯す罪も、全額贖われているのです。取り去られた。私達のあらゆる罪が、赦されたのです。だから、私達は祝うのです。では、一緒にいただきましょう。

主よ、感謝します。どうすれば、十分に感謝を伝えられるでしょう。主よ。今日、私達がそれぞれの生活に出て行く時にも、私達と共にいてください。私達の前をお進みください。主よ。あなたは、私達の味方です。そして主よ。あなたが味方でいて下さるなら、誰も私達に敵対できません。主よ、感謝します。イエスの御名によって。アーメン。

“神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。” (ローマ 8:31)

“しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべての中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。” (ローマ 8:37)

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい